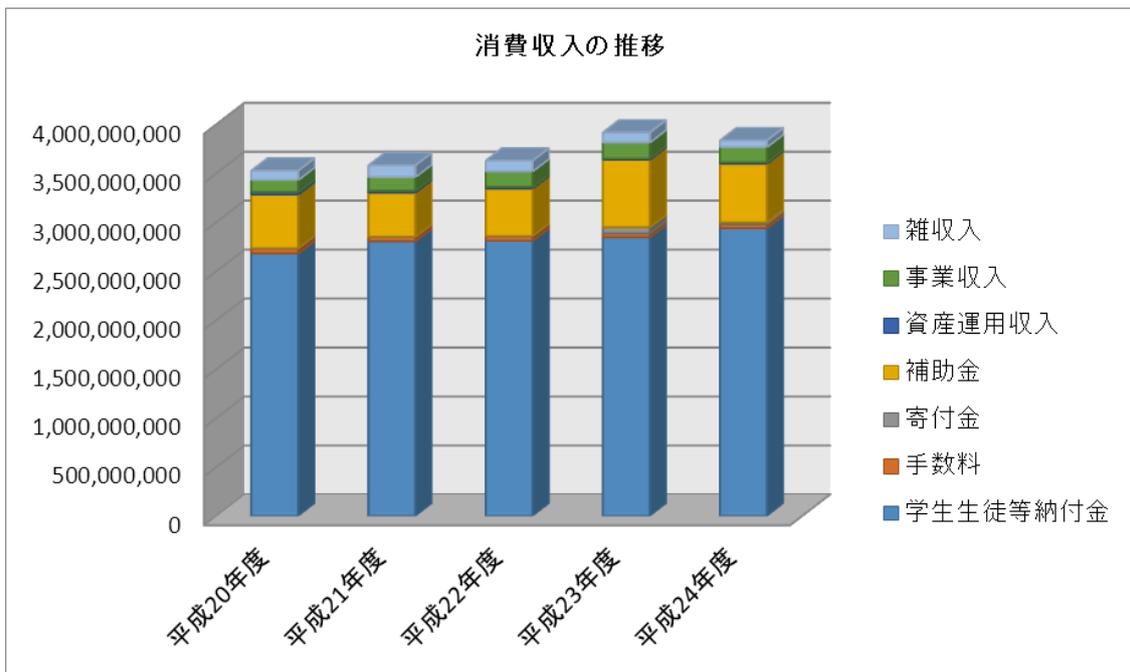


4-(2)-① 平成24年度 財務の概要

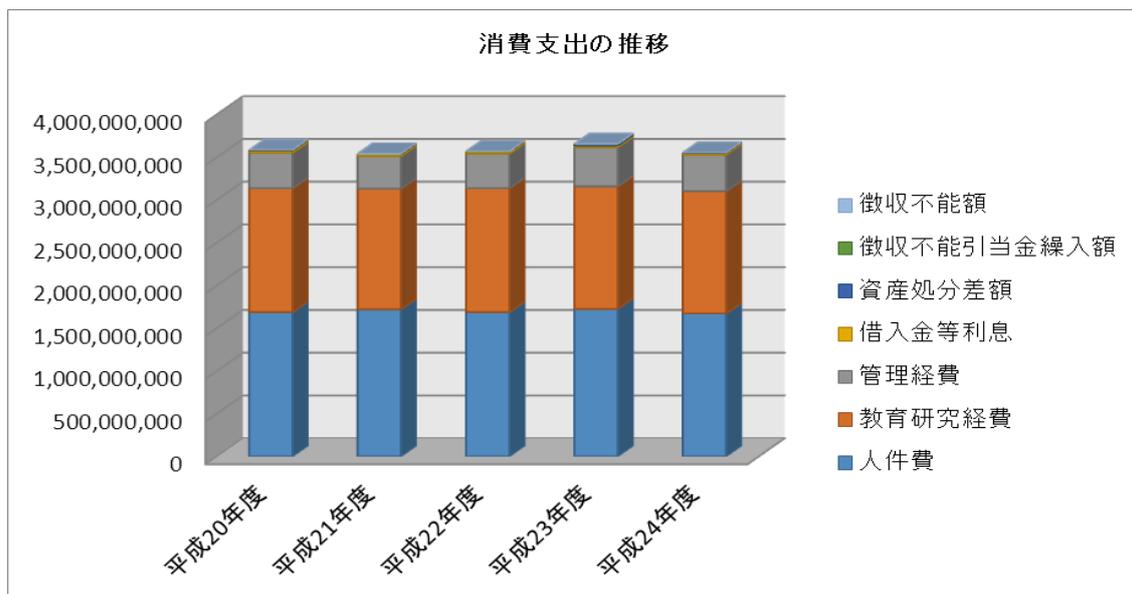
1) 概況

平成24年度決算では帰属収入が3,836百万円となり、昨年度の3,917百万円から81百万円の減少となりました。これは前年度耐震関係の補助金を獲得していたことによるものです。収入の主となる授業料収入は、入学者数が順調に推移しているため増加を続けており平成24年度は2,942百万円に達しています。



一方、消費支出は3,552百万円で、昨年度の3,655百万円から103百万円の減少となりました。これは主に予算執行の厳格化によるものです。

帰属収支差額はプラス284百万円で、昨年に引き続きプラスとなっています。



2) 資金収支計算書

収入の部、支出の部合計は予算額より167百万円減の5,070百万円となっています。

収入の部で前受け金収入が予算対比で減少していることが原因です。結果として、次年度繰越支払資金が予算額より8百万円減となっています。

支出の部では、東日本大震災の学費減免措置に係る奨学費支出が82百万円、耐震改修工事など施設関係支出が477百万となっておりますが、全学的に支出の抑制に取り組んだ結果、167百万円の減とすることができました。

3) 消費収支計算書

当年度消費支出超過額は予算に対して減少しています。これは消費支出が予算に比べて抑制できたことが原因です。

4) 貸借対照表

負債の部は長期借入金の返済が順調に進んでおります。平成20年度に導入したBEMS設備のリース未払金及び平成22年度に更新した教育用機器のリース未払いについても順調に支払いが進んでおり、前受金を除いた負債率13.0%と、昨年度より1.2ポイント減少しています。

資産の部は新実習棟の耐震改修工事、基幹ネットワークの更新などにより、固定資産が増加し、資産の部合計は昨年度より87百万円増加の15,805百万円となっています。